



杉  
集まりし  
山  
となる

杉山民謡会五十周年記念 会報

ふれあい

NO.37

## 新年おめでと〜うございます

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催されるはずの全ての催しが、自粛又は中止となり辛い日々を過ごしましたが、ようやく今年は杉山民謡会50周年記念発表会に至る運びとなりました。改めまして、皆様に感謝申し上げます。



平成21年12月20日二代目・杉山貞悦を襲名。振り返れば押しつぶされそうな大きなプレッシャーの中、無我夢中の10年でした。

会の存続から始まり、キッズの育成、たくさんの大会、コンクール出場、数々のイベント参加、海外公演、後世への民謡継承等々。当時少女少女だった子たちも、今では色々な場面で活躍できるまでに育ち、輝いています。

民謡を習うことは「人間力」を養う事にもつながっていると、日々のお稽古を通じて感じます。民謡の技術はもちろんですが、学校では接する機会のない年齢の離れた人と一緒にお稽古をします。そのために挨拶や人間関係など、きちんと身に付けなければなりません。

そんな子供たちが何度も舞台に上がるうちに、自信をつけ立派に唄う姿を見るとやはり嬉しいものです。礼儀作法や人間関係が体に染みこんでこそ、いい民謡が唄えるのではないのでしょうか。日々の成長が楽しみです。

民謡を通して明るい未来に繋がるように

願っております。

発表会は、お陰様で少しの時間でもコロナ禍の事を忘れ、お客様に楽しいひと時をお届け出来たと思っています。

今後とも、二代目として杉山貞悦の名を守り精進して参ります。

皆様方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

二代目 杉山貞悦



謹んで新春の御慶びを申し上げます。

# 癸卯

当会の50年の歴史を想えば、昭和48年に初代杉山貞悦師匠の元に集い誕生し、昭和58年に第1回発表会「うぶごえ」を開催、その後「あゆみ」「わらべ」という「ひと」の成長に合わせた発表を行い、半世紀を迎える事が出来ました。

これも、両師匠のご指導の元に会が好き、唄が好きで仲間を信頼し続けた多くの会員の絆やその家族の支えは勿論ですが、三味線、尺八、太鼓、踊りの会の各会諸先生からの応援を頂きながら、繋いだものであることには違い無く、深く感謝しております。

また、平成21年に初代師匠から二代目師匠にバトンが渡されてから十年を経て、今回第1回リサイタルを同時に開催することになりました。

さて、3年前の平成31年暮れに発生し、2年前には全世界に蔓延していった新型コロナウイルス。

このウイルスの感染拡大防止から、人の移動や人数の集合、大声を出すこと等が制限となり、常にマスク着用も普通の光景となるなど、非日常的な生活を営む

ことになりました。

民謡界も教室や舞台発表、コンクールが中止になるなど大きな打撃をうけ、昨年計画の当会発表会と二代目リサイタルもやむを得ず延期した次第です。

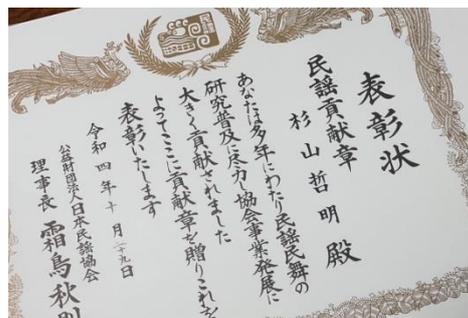
本日の舞台は、ようやく叶った4年ぶりの出演です。もちろん感染防止対策の徹底は言うまでも有りません。

会員一同、日頃の成果を発表することへの喜びを感じつつ、皆さまにはおもてなしの舞台になるよう精一杯努めますので、何とぞ、最後までご覧頂ければ幸いに存じます。

おわりに、本日の会にご後援、ご支援、ご指導を頂きました関係の皆さまに厚く感謝を申し上げます。



会長 杉山哲明



民謡貢献章

受章

## 集合写真

宝達尚登

我が家では、「終活」を始めました。17年前にリホームした時に不要なものは沢山捨てましたが、段ボール箱にアルバムに納まらず、整理されていない色々な写真がありました。

発表会、おさらい会、研修旅行の集合写真でした。

これも発表会の集合写真かなと、フォトグラフを開くとなんと二代目杉山貞悦襲名の時の集合写真で、記憶になかった。

皆さん知っていましたか？

みなさん若いですね。そして研修旅行での集合写真も出てきました。これは参加しなかった方もいるので思い出とはなりません。2015/07/13・14「小旅行IN長野・松本城そして、2013/06/22・23」研修旅行IN長野・草津です。

「集合写真」観ると、その当時の事を思い出させてくれる……。





二代目杉山貞悦襲名式 平成21年12月20日 於 ホテル金沢



今年一年を振り返って 小崎妃登美

1月に娘の成人式が有りました。私よりも振袖がとても似合っていましたね。3月に日民コンクールの地方を久しぶりにやる事に、しかも二代目先生の「越前舟漕ぎ唄」をです。

この頃に、いなほ支部の教室がはじまりました。支部長としてやる事がたくさん有りましたが、皆さんに助けて頂きながら、なんとか始まりました。

発表会に向けての歌の練習や、華絵巻の練習などなんだかコロナ前の様に忙しくなってきました。

そんな中、二代目先生が全国大会に行く事になり私が地方でお供する事になったのです。とっさにワクチンを打つ決意をしました。

全然平気でした。2回目の2日後に能登麦や節全国大会に初めて出場しました。

その1週間後に3年ぶりの華絵巻が盛大に開かれて、皆さんと舞台上に立てる事に喜びと、まだまだ練習が足りないなと思いました。

発表会の1回目の音合わせの日は天候が悪く警報が出るほどでした。また、唯さん、亜美さんが病欠で大変でした。

のど自慢大会に出場しましたが、まだまだ歌声が全く駄目で、この頃の私は太鼓と歌に自信を無くしてました。

気休めに耳鼻科に行ったりしました。二代目先生が察して下さって、唯さん達の太鼓の教室に私が行けるように段取りをしてくれました。

今思えば、この事が無ければ発表会や連日のイベントの地方を自信持ってやり抜く事が出来なかったと思います。

歌に関しては、初めて全国大会のステージに出場させてもらい、そこで歌う人達を見る事が出来て、とても良い刺激になりました。

今年のいろんな経験は私をとっても成長させてくれたと思います。まだまだ足りないところがあり来年もいろんな事に挑戦したいです。



いな穂支部

中村美津代

杉山民謡会の皆様、長い間お世話になりました。

初代杉山先生、二代目杉山先生をはじめ、会員の皆さんの優しさ暖かさと林中民謡教室（いな穂支部）の人達に支えられて今までやってこれました。

印象に残っているのは、私の人生で考えられない事。それは大きな舞台に出た事（金沢市文化ホール初舞台）。

そして初代杉山先生から「越中おわら節」を褒められた事。

忘れられない思い出です。

皆さんに感謝です。

本当にありがとうございました。



長い間お世話になりました。



私は80歳になりました。

今まで元気にやって来られたのは

民謡のお陰かな。

毎日、唄の詞を覚えるのに

一生懸命になることは認知症に良いし

声を腹の中から出すことは内臓を

強くし元気になる。

出来る限り民謡を続けていきたい。

上田昭夫



皆様に支えられた

50周年記念発表会

いなほ支部 中谷すみ子

4年ぶりに開催された発表会。

コロナウイルスの万全対策をし、お客様や御家族の皆様、地方、舞踊会、スタッフの方々多勢の皆様にご協力頂き無事終了出来た事を感謝します。

私が受付担当して思った事は、初代杉山先生が元気で、お客様に挨拶をされていた事です。

私達会員が受付できない時は御家族の方が素早い対応され感動しました。本当にありがとうございます。



## 仏壇修復を了えて

はばたき支部 西本恭子

長年の検案だった仏壇を一ヶ月あまり前に修復に出し、昨日何とか年内に帰って来ました。

思えば私のまだ幼き頃、父が横安江町のある仏壇屋さんより荷車で引いて来て入れたそうです。

祖父が決めて来たそうで、七十五年は超えています。私の方は田舎で近所は皆、二百代の大きな仏壇です。

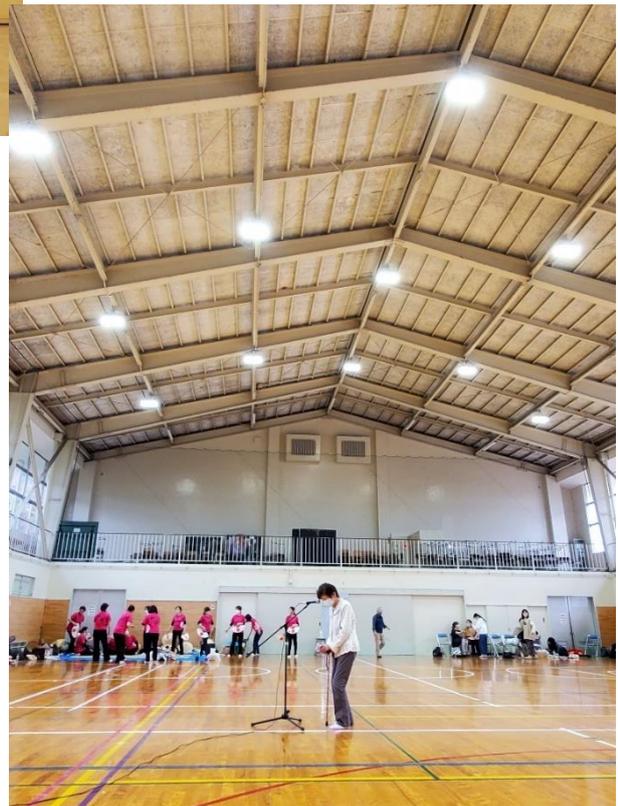
報恩講になると一軒毎におまいりに僧侶と共にいきます。家のはすすけて黒く輝いていません。

それがクリーニングのおかげで金箔が出てきれいに蘇って来ました。

ちようど父母の月まいりの日になり午後からでしたが、お寺さんと共におまいりができ、嬉しい限りです。

今年一番の嬉しい出来事でした。

## 今年一番の 嬉しい出来事



杉山貞恭

## 50周年記念発表会を終えて

やすらぎ支部 西村 昭

今年は、杉山民謡発足50周年という記念すべく発表会となり、月日の流れの早いのにびっくりです。

私は、民謡を始めたのは32歳の年でした。当時は、飲み会があるたびに順番に芸の披露があり杉山民謡会に入会させてもらいました。習いはじめてから48年経過しましたが、最近、歳と共に記憶力も衰え歌詞を覚えるのが大変になり、発表会の唄を何度も練習したつもりが、3題目で歌詞を間違えて唄ってしまいました。自分ながら情けなくなりましたが、皆さんの前で唄えるだけ幸せだと思おうようにしています。

二代目杉山貞悦リサイタル10周年で見に来て下さった方の笑顔や、初代が舞台上上がった時の大拍手を舞台横から見ていて自分も嬉しくなりました。

今後の課題は、会員がだんだん減って継続が心配ですが、どこの民謡会も同じ悩みを持っています。

私も元気な間は頑張って唄っていききたいと思います。



## 発表会を終えて

いな穂支部 森 米子

まずは、4年振りの発表会を無事終える事が出来て良かったと思っています。コロナ禍の中、お客様にどれだけ来て頂けるのか心配でしたが大勢の方に来ていただき安堵と共に感謝、感謝でした。

お客様の中には、「久しぶりにいいものを見せて頂き感動した」と言ってもらった。企画を含め好評だったことが何よりでした。個人的には発表会を機に、久しく疎遠だった友人達と旧交を温める事ができ幸せでした。

今年も唄、三味線、ゴルフそして近所の人々のお茶端会議を楽しみたいと思っております。



今回の発表会は杉山民謡会50周年記念と二代目・杉山貞悦襲名10周年という節目が二つ重なる発表会となりました。

コロナ禍で相次ぐイベントの中止の中、ようやく4年ぶりの開催となりました。

節目の発表会の曲選び今回は記念に歌詞に自分の名前が入った「音戸の舟唄」を選びました。

振り返って見ると入会して30年になります。当初は着物も着れなくて手伝って頂きました。2年に1回の発表会ですから15曲、その他練習曲を合わせると、ほぼ30曲以上は、あると思います。整理が出来ていなくてパソコンが変わる毎に消失していったようで結局30年の軌跡が無い状態です。

舞台デビューは「姉コ こちや向け かんざし落ちる かんざし落ちない顔見たい」の北海道民謡「いやさか音頭」だったと思います。

当時は、何にも分からない状況で初代から言われたまま曲を決めたと記憶しています。

どこの舞台かは忘れませんでした。

その後、「能登舟漕ぎ唄」を知り、「福光めでの格調高い旋律が主に印象に残っています。亡き平井さんには「能登麦屋節大会」へ、いな穂支部さんと共に誘って頂きました。懐かしいです。

未だに自分は何が得意なのか分かりません。目の前の直近の唄しか思い浮かばない自分が情けないです。

しかしながら、親戚の結婚式等で民謡を披露した事、職場のお祝いの席で披露出来た事など民謡をやっていて良かったと思っています。

何かしらの特別感を感じます。

人前に立つ事は、この歳になっても未だに苦手ですが、何とか自己解決できるようになりました。

「杉山民謡会ホームページ」と「会報 ふれあい」を担当しています。二代目襲名と同時にブログも始め10年を超えています。

あれから30年も経てば景色も変わります。世代の移り変わりを感じています。

ある意味杉山民謡会存続のかかった10年。

プレッシャーに耐えながら、今できる事を積み重ねた結果の10年です。

杉山民謡会50周年を迎えられたのも二代目の全力疾走の10年があったからこそだと思えます。

改めまして二代目襲名10周年、誠におめでとうございます。



皆さん発表会お疲れ様でした

寺田康子

いな穂教室はコロナが流行り出した為、二年間お休みでした。

今年11月6日に「発表会&二代目リサイタル」と決まり、2月から教室が再開され自分の唄を決め、2年ぶりに三味線に合わせて唄うのですが、声が出ません。皆も、どうしたら声が出るか心配してくれました。

そして教室の回を重ねる毎に、声もやっとなるようになり、本番舞台で唄うことができ嬉しかったです。

杉山会の会員は少なくなってきましたが、少ないながらも団結していると思います。

それは先生が素敵で行動力がある方だからです。

発表会ではキッズの御両親、会員の身内の方のお手伝い。

その方々のお陰で無事発表会を終える事が出来ました。ありがとうございます。



一人住まいなので一日2食です。しかも食べる時間はキチツと決まっています。求めている外食はせず、所用等外出時は当然、外で食べます。

また、食は味にこだわらず、甘いもの辛いもの一応何でも食べます。農家の端くれで、JAへ少量の米を出しております。

毎日の食に関しては、もう何年も玄米食を続けています。

玄米は硬い、まずいと言われるが、私は長時間水に浸してから炊飯しているので、そんなことはありません。

炊飯器に残った冷飯もカレー、チャーハンにすると、焼飯はパラパラで自然な感じで素人の私が作っても旨いです。

また、私は食事量が少なく、自宅外で10人以上の会食などに参加すると、前食抜きでも残してしまうことがあります。

また、毎日の塩分量を見ると、以前より少なくなっています。

即席味噌汁は1回当たり1食の半分がよく、2回で1パック使用になります。

それだけ、体の必要量が減っていて、良いことだと思っています。

それに、朝食が菓子パンになることも多く、その時は味噌汁もないです(笑)。

以上、私の食生活をみてきましたが、傍

から見ておかしい、一人だからできることがあると思います。

しかし、現在、健康面では持病は無く、通院もしていません。たまに血圧を計ると数値は高めですが、あまり気にせずに暮らしています。

薬は飲んでなく、代わりに体に良いと思うビタミン、ミネラル類のサプリメントを飲んでいきます。

今のところ、玄米食、減塩少食で、結果として健康を自覚しております。

5、6年ぶりの杉山会発表会。孫娘(中学2年)に観覧を伝えたところ、息子と親子で来てくれた!

じいじの唄を聴くのは初めて最後(笑)となる。発表会後、じいじの唄は上手やったとLineで言ってくれた。

孫娘から言われて、じいじ本人は嬉しい(笑)。

孫の通っている清泉中学校は歴史が浅く、奇しくも、校歌は私の義理の兄が作詞しており、その兄は、今年10月に亡くなりました。

：広いようで狭い、地域社会がどこかで繋がっているように感じます。

## 食のこだわり...ほか

前川昭治



「発表会を終わって」

常少義孝

この度の発表会は、仕事の都合で練習が

思うようにいかず

音合わせ不足で一回目の総合練習と

本番前の二回しか合わす事ができず

また、自分の唄い方とマッチせず、

今一シツクリこなかったです。



コロナ禍で教室も出来ない日が続き

今回の「発表会」は

唄えることが心から幸せと感じました。

皆さんありがとうございました。

もっともっと唄いたい。

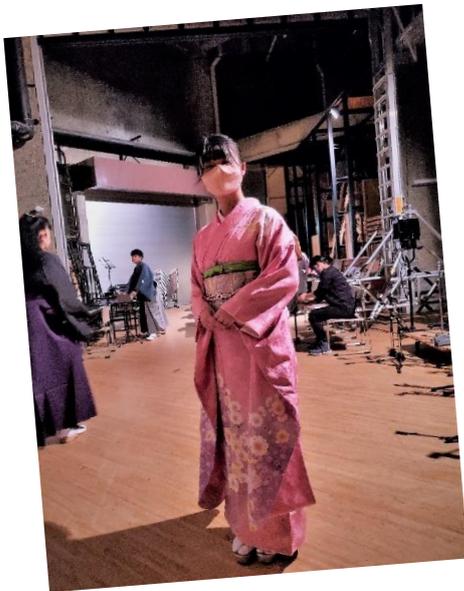
倉田恵子



山本菜々子 高3

2022年12月25日のジュニアアートのステージで久しぶりに振袖を着てお客様の前で民謡を披露することが出来ました。家族や見に来てくれた人達からたくさん感想を、もらえて嬉しかったです。

2023年も、もっと練習して色々な人に楽しんでもらえる唄をうたいたいと思います。大会にも出場して入賞できるように頑張ることも目標です。



山本日菜子 小6

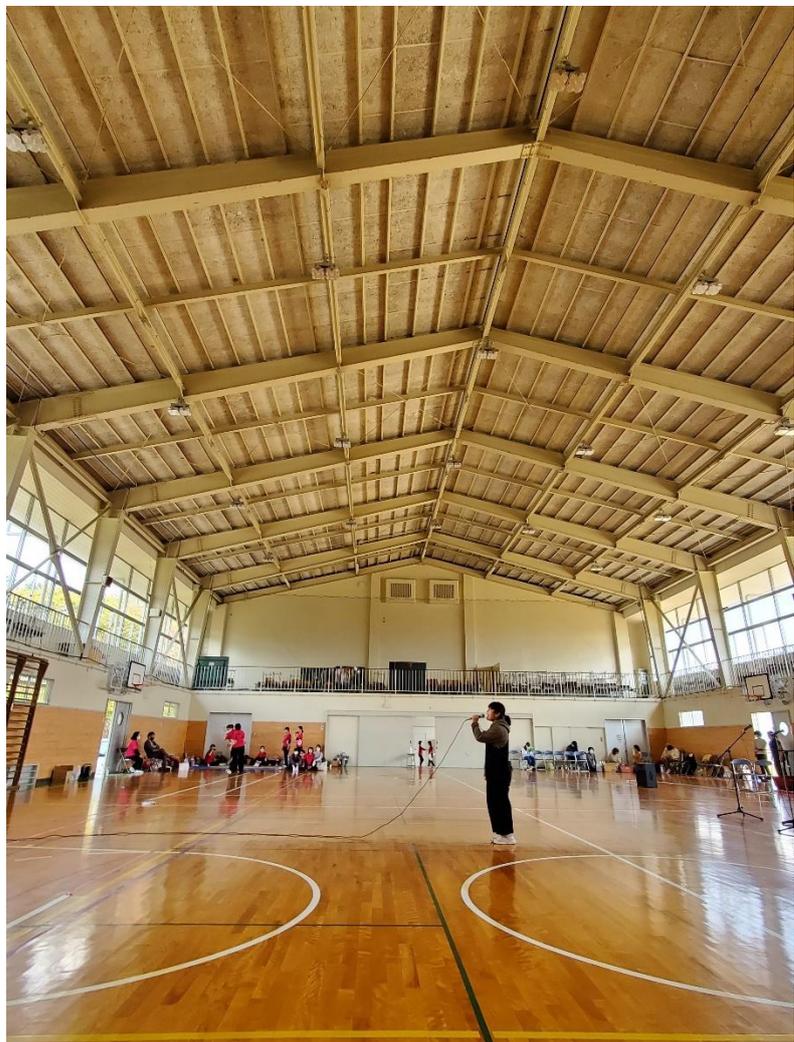
保育園から民謡を習い始めて小学校6年生になりました。

コロナでおけいこが出来ない時期もありましたが11月には久しぶりに発表会もありました。

ジュニアアートステージや津軽民謡全国大会 in 琵琶湖にも出場しました。

忙しかったけどたくさん経験が出来てよかったです。

これからも頑張ります。



箕崎 仁 高専1年

ようやく声変わりが落ち着いてきました。  
これからまた民謡頑張りたいと思います。



箕崎文音

小6

中学生になるので忙しくなるかもしれませんが  
これからも  
勉強、部活、民謡、みんながんばります。



西房 唯

今年もコロナ禍の中、毎月お稽古をし、四年ぶりに開催できるイベントも多く、発表会も無事開催でき、とてもよい一年でした。発表会では、企画を担当させていただき、何回も会議を重ね曲順や、演出などを考えるのがとても楽しかったのを覚えています。まだまだ、みんなで楽しく民謡を歌っていきたいと思います。

鱒ヶ沢甚句部門



津軽五大民謡部門



西房亜美

民謡を初めて20年の年でした。

今年は、能登麦や節と山中節の全国大会優勝、杉山民謡会発表会などたくさんの方の久しぶりの大会やイベントがあり民謡の行事が、とても充実していた年でした。

特に山中節を今まで以上に唄わせて、もらった年でした。

来年の春からは社会人になるので民謡も仕事も頑張って、キラキラしたOLを目指します。



R 4 一年の締めくくりに

やすらぎ支部 土清水 哲明

世間では今年を表す漢字として「戦」が決まったが、私の漢字は「謝」です。

新型コロナウイルス感染が治まる兆しのない中で、昨年延期した50周年記念発表会・二代目先生の初リサイタルを会員OBや友人、知人、親戚など多くの方々にご覧頂き、若干時間延長はあったものの無事に終えることが出来たことは大変良かったと思っております。

ともかく、この行事が達成できた事には、会員の努力は勿論のことですが、ご出演の舞踊、地方の皆様、司会者、舞台スタッフと会員ご家族の大きな協力・応援があったことに有ると思っております。この皆様様に深く感謝し、来年はさらに跳躍（卯年）することを願い、この一年の締めとします。



大寒の候、凜とした冷たい空気に背筋を、正す毎日でございます。

杉山民謡会は、五十年の時を重ね、区切りの年を迎えることができました。

語り尽くせぬ思い出が巡り来ては、また流れゆきます。

忘れてならぬものとして会員たちとの不思議な出逢いと人情があり、あの人もこの人も変わらぬ暖かさが人生最大の友であり助っ人であると感謝しております。

こんな出来事が思い浮ぶ。

私が能都の宇出津で民謡教室をしていた時の昭和54年の春、能都の柳田村から14歳の中学生の女の子が叔母さんに連れられてやって来た。秋田船方節を聞かせてくれた。

上手い、抜群である。

その後、その子は民謡街道を無我夢中で走り出した。様々な民謡の大会に意欲的に挑戦。数々の成果を上げた。

その子とは、「二代目・杉山貞悦」であります。

本人は底抜けに明るく芯の強い女性であり、現在年長者の指導と若者・子供達の育成に奔走しており、片や民謡組織の要職をも務めている。

近世大変難しい時代ながら、未来の民謡界を背負いゆく人物であると心から念じております。

会員の皆様におかれましては今後、共に杉山民謡会を盛り立てていかれますようお願い申し上げます。

なお、止まること知らぬコロナが人間の生活を脅かしておりますが充分にご留意くださるようお願い申し上げます。

### 杉山貞夫





カ





キッズ支部お父さん  
ご協力ありがとう  
ございます。







杉山民謡会

# 三匹の民謡侍

Welcome to 杉山民謡会

What's New 遠傳の紅葉遠分  
初音・杉山尚悦と杉山健晴 今、語る

- 会報ふれあい
- 民謡でつながる仲間たち
- NTT北陸展覧 展覧サークル
- 北川会
- 竹の子会
- 北 民謡会

2012年度スケジュール

杉山民謡会のあゆみ

名取紹介

杉山真帆プロフィール  
二代目

新支部紹介

ご意見・ご感想

写真集

会報執筆中 /  
二年に一度の発表会をはじめ、各団種コンクールの参加、  
石川県・金沢市主催の秋祭り、輪歌合戦、大民謡まつりなど  
楽しいお祭り おおらかにたくましく活動中です。

お問い合わせ：本ホームページ内、ご意見ご感想よりメールにてお願い致します。

杉山民謡会ホームページ <http://ma-ma-ma.sakura.ne.jp/>





出来ることから  
はじめましょう。

二代目・杉山真悦





## 〈編集後記〉

初代の久々の黒田武士。

舞台の初代は、丁寧、丁寧に語り掛けるように唄い、怯むことなく凛とした姿に魅せられ、感動、涙が溢れました。

初代の生き様と流儀を垣間見た気がしました。米寿おめでとうございます。

ふれあいの投稿ありがとうございます。

読ませて頂いて「生きる強さ」と「愛」を感じました。

「そこに愛は、あるんか。」

CMのセリフですが深い言葉だと思えます。皆さんの杉山愛は、最強です。

二代目の十年の足跡。

ふり向けば足跡が、いつのまにか道となっていました。

「ふれあい」の表紙は、「杉集まりし山となる」動いて動いて動かさる山を、

共に築き上げましょう。

会長が民謡貢献章を受章されました。長年の民謡活動の功績が刻まれました。会員一同、心よりお祝い申し上げます。

杉  
集まりし  
山  
となる

令和 五年 一月

杉山民謡会ホームページ <http://ma-ma-ma.sakura.ne.jp/>

